

# なぜ学問の自由は大切なのか

～日本学術会議会員の任命拒否問題から考える～

菅義偉内閣総理大臣は、2020年10月1日から任期が始まる日本学術会議の新会員について、同会議が推薦した候補者105名のうち6名の任命を拒否しました。この任命拒否問題については、各種報道でも大きく取り扱われ、学問の自由を侵害するものだという指摘もされています。

そもそもなぜ学問の自由は大切なのか、この任命拒否問題はわれわれ市民の生活にどのような影響を与えるのかについて、早稲田大学法学学術院（法学部、大学院法学研究科）の水島朝穂教授が語ります。

2021年

6月26日土

参加費  
無料

午後2時～午後4時

仙台弁護士会館 4階大会議室

住所 ▶ 仙台市青葉区一番町 2-9-18

ZOOM を利用してのご視聴可能

本講座は、ZOOM を利用してご視聴頂くことも出来ます。

▼ ZOOM でご視聴頂く場合のURL ▼

視聴URL <https://zoom.us/j/95153951701>

開演時刻になりましたら、上記URLか、QRコードからご視聴ください。上記URLは、仙台弁護士会のホームページ(<https://senben.org/>)にも掲載しますので、そこからクリックして頂けます。



なお、ZOOM でご視聴頂く場合に、画面が映らない、音が出ない等の接続面の不良については、お問い合わせ頂いても対応することができませんので、ご了承ください。また、本講座は新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止とさせて頂く場合があります。中止の場合は、仙台弁護士会のホームページで告知しますので、ご確認ください。

講師



水島 朝穂 教授

< 講師略歴 >

早稲田大学法学学術院（法学部、大学院法学研究科）教授。札幌大学、広島大の助教授を経て、1996年より現職。全国各地で憲法に関する講演実績多数有。著書『平和の憲法政策論』（日本評論社）ほか多数。ホームページ「平和憲法のメッセージ」（<http://www.asaho.com/>）上で、社会の様々な問題に対するメッセージも発信中。

